

所属・職位	医学部看護学科実践看護学講座（成人看護学）・准教授	
氏名	脇 幸子 (Waki Sachiko)	
取得学位	博士（看護学）、大阪大学、2016年9月	
SDGs目標	     	

研究分野	看護学
研究キーワード	慢性疾患看護、セルフケア支援、チーム医療、地域医療、看護教育学、看護生涯学習

研究内容	<p>●【研究1】慢性疾患(糖尿病)を持つ人のセルフケア支援に関する研究(研究活動①～④)</p> <p>糖尿病重症化予防のためのセルフケア支援では、単に食事や運動などのセルフケア方法や知識だけでなく、自分自身で自分のセルフケア状況を自己評価できる力を育成することが重要であるが、病院での支援だけでは効率的ではない。そこで、糖尿病・予備軍のある人と糖尿病療養指導士との相互作用の場である、患者会活動や地域活動(就労支援)において、先行研究で示唆された『糖尿病をもつ人のセルフケア自己評価を促す支援のガイドライン』やACP概念を活用したセルフケア支援を行い、患者会や地域との協働によるセルフケアpower upプログラムの有効性を探究している。(加えて、慢性疾患患者の防災プロジェクト参加)</p> <p>●【研究2】研究1と連動：チーム医療、地域医療、多職種連携に関する研究(研究活動⑤)</p> <p>大分県での糖尿病医療と地域連携システムの検討として、情報提供・共有、相談導入など両者が共に活用できる資源としてタッチパネル式コンピュータ：アンドロイドを作製した。</p> <p>●【研究3】研究1・2と連動：介護老人保健施設における糖尿病チーム医療・介護モデルの開発(研究活動⑥)</p> <p>介護老人保健施設における糖尿病チーム医療のモデル開発とアプリ作製・糖尿病療養指導士の介入による糖尿病チーム医療・介護の実践</p> <p>●キャリア開発・看護学教育でのVR教材開発</p>
------	--

研究業績・アピールポイント	<p>①基盤C(平成19・20年度)「外来看護での糖尿病患者のセルフケア自己評価の試みと自己決定能力向上との関連」</p> <p>②基盤C(平成22～24年度)「タッチパネル式情報提供コンピュータを活用した糖尿病患者のセルフケア自己評価の試み」</p> <p>③基盤C(平成25～28年度)「糖尿病患者のセルフケア自己評価支援ツールとCDE看護師育成プログラムの開発」</p> <p>* Structural model of self-care agency in patients with diabetes: A path analysis of the Instrument of Diabetes Self-Care Agency and body self-awareness, Sachiko WAKI, etc, <i>Japan Journal of Nursing Science</i> (2016.5.25) doi:10.1111/jjns.12127</p> <p>* Insights into self-care behavior of patients with diabetes: support using a computerized self-evaluation system, Sachiko Waki, etc, <i>Journal of Nursing Education and Practice</i> 2016, Vol. 6, No. 10, 51-64. DOI: 10.5430/jnep.v6n10p51 URL: http://dx.doi.org/10.5430/jnep.v6n10p51</p> <p>④基盤C(平成30～令和4年度)「糖尿病療養指導士と患者会の協働によるセルフケアpower upプログラムの有効性」</p> <p>⑤萌芽(平成13～14年度)分担「地域における糖尿病患者のためのチーム医療の現状と連携システムの構築」地域貢献特別支援事業費(平成15～16年度)「生活習慣病等へき地医療対策支援事業 糖尿病管理のための情報の共有化：糖尿病管理のための情報の共有化」文科省概算要求事業(平成19・20年度) 分担「ICTを活用した双方向性型地域再生モデル事業」</p> <p>⑥基盤C分担(平成30～令和4年度)「介護老人保健施設における糖尿病チーム医療・介護モデルの開発」(平成26～30年度)「介護老人保健施設における糖尿病療養指導士の介入による糖尿病チーム医療・介護の実践」</p>
---------------	---